

海のそなえ体験イベント



海の日

イベント実施マニュアル

海の日 オとは...

**波、潮流、風、生き物など
子どもたちがアクティビティを通じて
海の魅力を感じるとともに
そなえるからこそ広がる海の可能性
“そなえの重要性”を知ることができる
海の体験イベント**

感染症対策



**イベント参加前には
必ず主催者側と参加者側の
検温、健康チェックを行いましょ
う。
こまめな手洗い、手指消毒も重要
です。
接触等の密を避けることへの配慮
など
感染症対策をしっかりと計画した
上で
イベント開催準備に万全を期して
ください。**

参加者全体で行うプログラム

子ども達の整列
アイスブレイク
緊急時のルール決め
バディ&グループ分け





子ども達の整列



**多くの子ども達が参加するため
密にならないよう
一人一人の間隔を広くとり並ばせます。
参加者が安心できる
イベント作りを心がけましょう。**



ソーシャルディスタンス！

アイスブレイク



子ども達との壁を取り払うために
アイスブレイク(自己紹介)を行います。
顔と名前を覚えてもらい
親しみやすい存在になることを
心がけましょう。

★ ニックネームで覚えてもらう！

緊急時のルール決め



- 笛がなったらビーチへあがる
 - 近くのライフセーバーの元へ集まる など
- 緊急時にどういう行動をとればいいのか
子ども達に説明しましょう。



各地の適した行動を説明しましょう

バディ&グループ分け

このイベントでは
子ども達が安全に遊べるように
バディシステムを導入しています。
バディを組む際はなるべく同じような
体格の子同士で組ませましょう。



学年順に並ばせ、同じ体格で組ませましょう。

ボディ&グループ分け

▼1グループ

- ボディ2,3組 (4~7名)
- ライフセーバー2名

★チーフライフセーバーは
2グループに対し1名
浜辺から監視



グループごとに行うプログラム

集合時の点呼のとり方
準備運動
ライフジャケットの装着
海の遊び
復習



集合時の点呼のとり方



バディの号令は…

1,前列の子は、右手をグーにして拳手

2,後列の子は、前列の子の背中を2回ノック

3,ノックの確認後

端から順番に番号を言い、手をおろす。

※3人1組のバディも同様

バディの確認が取れていない場合は、手をあげたまま待機

準備運動



**「気分が悪い子はいないか」
「どこかケガをしている子はいないか」
声かけをして、子ども達のコンディションを
海へ入る前に必ず把握しておきましょう**

ライフジャケットの装着

子ども達に装着方法を
教えてあげながら行いましょう。
その後、1人1人正しく装着できているか
必ず確認しましょう。



ライフジャケットの取り扱い方は
事前に把握しておきましょう

海の遊び

- ライフセーバーよりも
深いところへは行かない
- 海へ入る時は
地面を確認しながらゆっくりと など
海で遊ぶ際のルール、注意事項を
子ども達に説明しましょう。



この2つを基本に各地、ルールを決めましょう



海の遊び 基本編



ライフジャケットで浮いてみよう
ボードの上でポーズング
水上綱引き
波に乗ってみよう



海の遊び 基本編

ライフジャケットで浮いてみよう

各バディから1人ずつ挑戦
体験時間：10分目安



ライフジャケットで浮いてみよう

ライフジャケットの機能性を体感してもらうための遊び。

- ライフジャケットは浮く
- 障害物から身体を守ってくれる
- 保温効果がある など

子ども達に問いかけながら教えてあげましょう。



子ども達の海への耐性を見極めましょう

海の遊び 基本編

ボードの上でポーズジグ

各バディから1人ずつ挑戦
体験時間:15分目安

使用する道具：スポンジボード（リーシュコード付き）

ボードの上でポージング

うつ伏せ、牛、ロデオ
指定された3つのポージングに挑戦。
スポンジボードの扱いや
波の上でのバランスに慣れるための遊び。



★ 3ポーズを基本に
オリジナルのポーズにも挑戦してみましよう。

海の遊び 基本編

水上綱引き

バディごと挑戦
体験時間:15分目安

使用する道具：スポンジボード（リーシュコード付き）
ロープ(3m以内)

水上綱引き

ポージングで養ったバランス感覚を活かし
スポンジボードに乗りながら綱引きを行います。
波のうねりに慣れ
海の楽しさを覚えてもらいましょう。



★ 使用するロープの長さは3m以内！
長すぎると思わぬ事故につながります。

海の遊び 基本編

波に乗ってみよう

各バディから1人ずつ挑戦
体験時間：15分目安

使用する道具：スポンジボード（リーシュコード付き）

波に乗ってみよう



**スポンジボードを使い波乗り体験をします。
グループワークの締めとなるこの遊びで
海の魅力を子ども達に感じてもらいましょう。**



**砂浜側で保護者が受け止め役になると
安心感、達成感もUP！**

上級者向け



海の遊び 応用編



浅瀬トレジャーハンター

海に飛び込んでみよう



海の遊び 応用編

浅瀬トレジャーハンター

各バディから1人ずつ挑戦
体験時間：10分目安

使用する道具：お宝（見つけやすく海に沈むもの）

浅瀬トレジャーハンター



**ライフジャケットを脱ぎ、素潜り体験をします。
お宝に見立てた物を海底に隠し
宝探しゲームで、子ども達に競わせましょう。
海面と海底での水温や流れ
音の伝わり方の違いなどを感じてもらいましょう。**

子ども達の力量を見極めながら挑戦させましょう

海の遊び 応用編

海に飛び込んでみよう

1人ずつ挑戦
体験時間：10分目安

使用する道具：スポンジボード（リーシュコード付き）

海に飛び込んでみよう

会場に設置したフロート
またはスポンジボードを使い
飛び込み体験をします。

フラフープなどで飛び込む目標を作ってあげると
ゲーム性もあがり、より楽しめるでしょう。



子ども達の力量を見極めながら挑戦させましょう

海の遊び 基本編

ライフジャケットで浮いてみよう
ボードの上でポーズング
水上綱引き
波に乗ってみよう

海の遊び 応用編

浅瀬トレジャーハンター
海に飛び込んでみよう

他にもオリジナルの遊びを開発してみましよう

海の知識まとめ

ライフジャケットは身体を守ってくれる
海はプールとは違い 潮の流れがある
離岸流には要注意
波の力は強い 海面と海底で水温が違う
海底はデコボコしている など

遊びに隠された学びを
その都度子ども達に説明してください。
また休憩・水分補給はプログラムごとなど
こまめに行いましょう。

復習



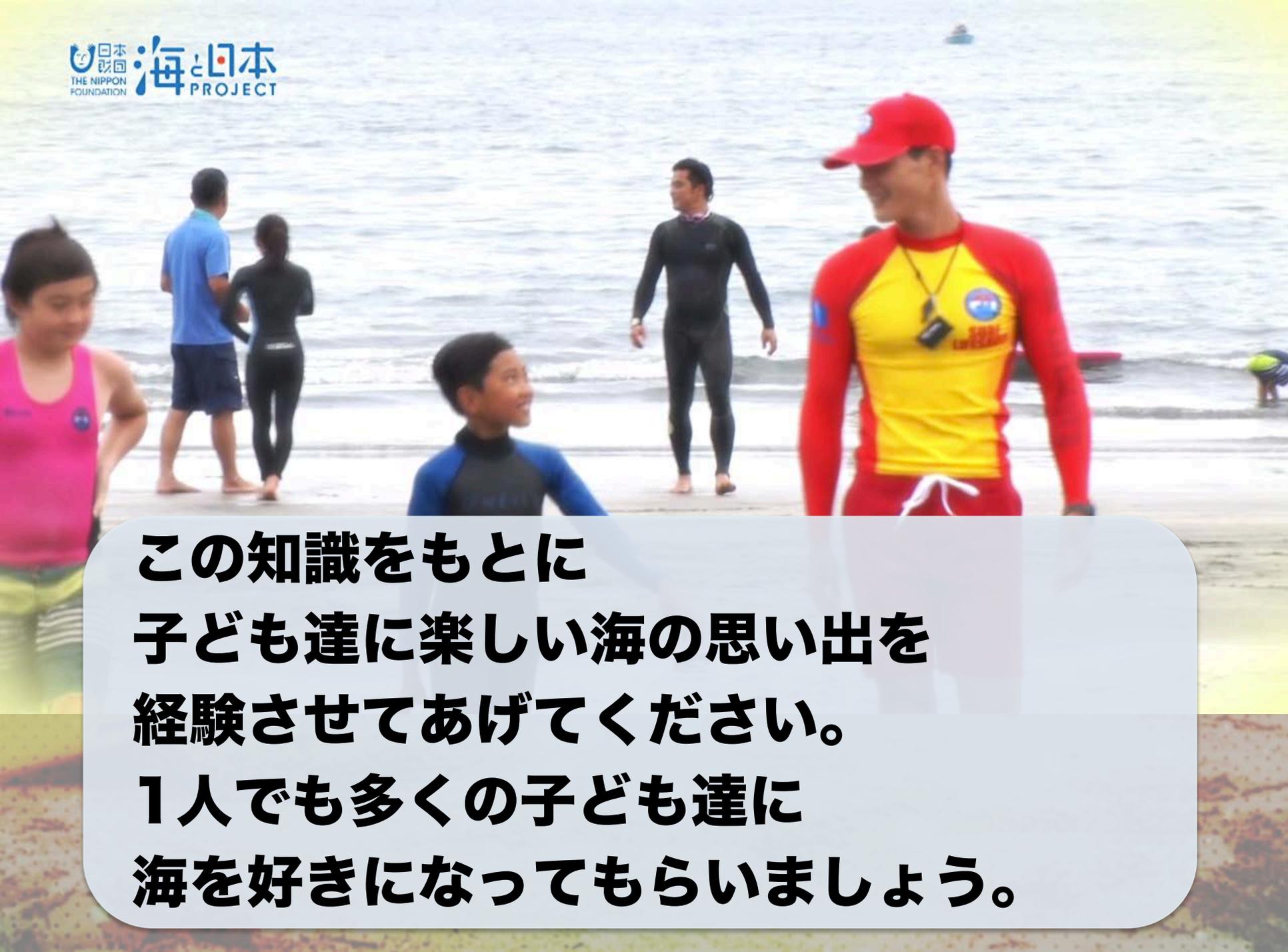
**遊びを終えたら、砂浜にあがり
子ども達に体験を通して学んだことを
復習してあげましょう。**

クイズ形式で復習するなど、楽しみながら行いましょう

海口デラー認定



最後にこの体験をやり遂げたことを祝して
海口デラー認定バッジを子ども達にプレゼント！



**この知識をもとに
子ども達に楽しい海の思い出を
経験させてあげてください。
1人でも多くの子ども達に
海を好きになってもらいましょう。**